

| | | | | |
|-------------|---------------|----------------|---------|--------|
| 鹿児島工業高等専門学校 | 開講年度 | 平成29年度(2017年度) | 授業科目 | 流体工学特論 |
| 科目基礎情報 | | | | |
| 科目番号 | 0003 | 科目区分 | 専門 / 選択 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 | |
| 開設学科 | 機械・電子システム工学専攻 | 対象学年 | 専1 | |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | プリント配布 | | | |
| 担当教員 | 椎 保幸 | | | |

到達目標

本科で学んだ流体工学や流体力学の基本事項について、演習を通じて物理的な理解を深め、説明できる能力を身に付けることを目標とする。また、英語のテキストを用いることで英語力の向上も目指す。

ルーブリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|-------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 流体の基本的な物理的性質が説明できる。 | 流体で用いる単位系、流体の物理的性質、次元解析の手法を理解し、与えられた課題を解くことができる。 | 流体で用いる単位系、流体の物理的性質、次元解析の手法を説明することができる。 | 流体で用いる単位系、流体の物理的性質、次元解析の手法を説明できない。 |
| 流体の静力学に関する基礎的事項が説明できる。 | 静水における圧力と浮力およびマノメータの原理を理解し、与えられた課題を解くことができる。 | 静水における圧力と浮力およびマノメータについて説明できる。 | 静水における圧力と浮力およびマノメータについて説明できない。 |
| 流れを表す各種の基礎式について説明できる。 | ベルヌーイの式、連続の式、運動方程式および流線を表す式を理解し、与えられた計算問題を解くことができる。 | ベルヌーイの式、連続の式、運動方程式および流線を表す式について説明できる。 | ベルヌーイの式、連続の式、運動方程式および流線を表す式を説明できない。 |
| 圧力測定の原理および方法について説明できる。 | ピエゾメータおよびピトー管の原理および適用方法を理解し、与えられた計算問題を解くことができる。 | ピエゾメータおよびピトー管の原理および適用方法について説明できる。 | ピエゾメータおよびピトー管の原理および適用方法を説明できない。 |
| 物体周りの流れに関する基礎的事項が説明できる。 | 平板上の境界層および摩擦抵抗、物体に働く抗力と揚力を理解し、与えられた計算問題を解くことができる。 | 平板上の境界層および摩擦抵抗、物体に働く抗力と揚力を説明できる。 | 平板上の境界層および摩擦抵抗、物体に働く抗力と揚力を説明できない。 |

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

| | |
|-----------|--|
| 概要 | 本科4年次の流体工学および本科5年次の流体力学を履修していること。微分方程式の知識を必要とする。 |
| 授業の進め方・方法 | 演習問題をプリント配布するので、50分程度の予習をしておくこと。授業はゼミ形式で、口頭で説明させるため、解答の内容を十分に理解しておくこと。 |
| 注意点 | 30分程度の復習を行い、さらに理解を深めること。 |

授業計画

| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|------|------|-----|------------|-----------------------------------|
| 前期 | 1stQ | 1週 | 流体の物理的性質 | SI単位、密度、粘性、比重、圧縮性について説明できる |
| | | 2週 | 流体の物理的性質 | 次元解析、表面張力について説明できる |
| | | 3週 | 流体の静力学 | 圧力、マノメータについて説明できる |
| | | 4週 | 流体の静力学 | 浮力、相対的静止について説明できる |
| | | 5週 | 流れの基礎式 | 連続の式、流線について説明できる |
| | | 6週 | 流れの基礎式 | ベルヌーイの式について説明できる |
| | | 7週 | 流れの基礎式 | 運動方程式について説明できる |
| | | 8週 | 各種圧力計 | ピエゾメータの原理と適用方法について説明できる |
| 2ndQ | 2ndQ | 9週 | 各種圧力計 | ピエゾメータの原理と適用方法について説明できる |
| | | 10週 | 各種圧力計 | ピトー管の原理と適用方法について説明できる |
| | | 11週 | 各種圧力計 | ピトー管の原理と適用方法について説明できる |
| | | 12週 | 物体まわりの流れ | 平板上の境界層と摩擦抵抗力について説明できる |
| | | 13週 | 物体まわりの流れ | 平板上の境界層と摩擦抵抗力について説明できる |
| | | 14週 | 物体まわりの流れ | 抗力、揚力について説明できる |
| | | 15週 | 試験答案の返却・解説 | 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目) |
| | | 16週 | | |

評価割合

| | 試験 | レポート | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|---------|----|------|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 専門的能力 | 70 | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |